

EA707DE-2(AC/DC電圧テスター)取扱説明書

Ver.1.0

この度は当商品をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

◎ 機能

AC(交流)、DC(直流)電圧の電圧測定用および導通テスターです。
本機は位相の方向を示している間、単位相テストと回転フィールドテストができます。
検知は光と音によって表示されます。

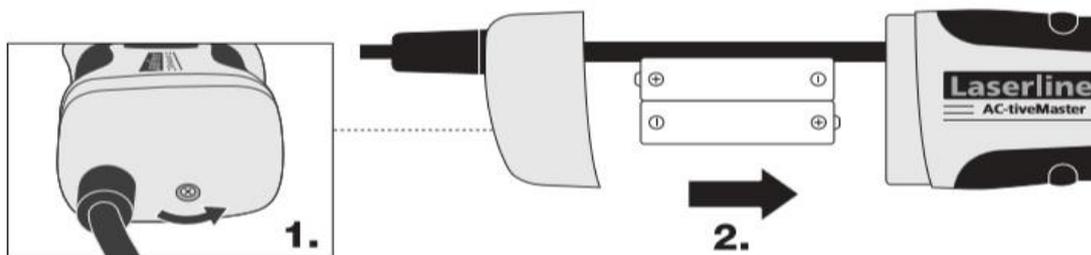
◎ 仕様

- | | |
|--|------------------------------------|
| ・電圧検知範囲 … 1~690V AC/DC | ・テスト電流 … $5\mu\text{A}$ |
| ・電圧検知レンジ … 6,12,24,36,50,120,230
400,690V AC/DC | ・過電圧保護 … 690V AC/DC |
| ・電圧検知 … 自動 | ・電源 … 単4電池×2本(テスト電池付属) |
| ・誤差 … -30~0%(読値) | ・周波数レンジ … 50/60Hz |
| | ・サイズ … 45×35×240(H)mm |
| | ・使用温度 … -10~55°C |

◎ 安全のために

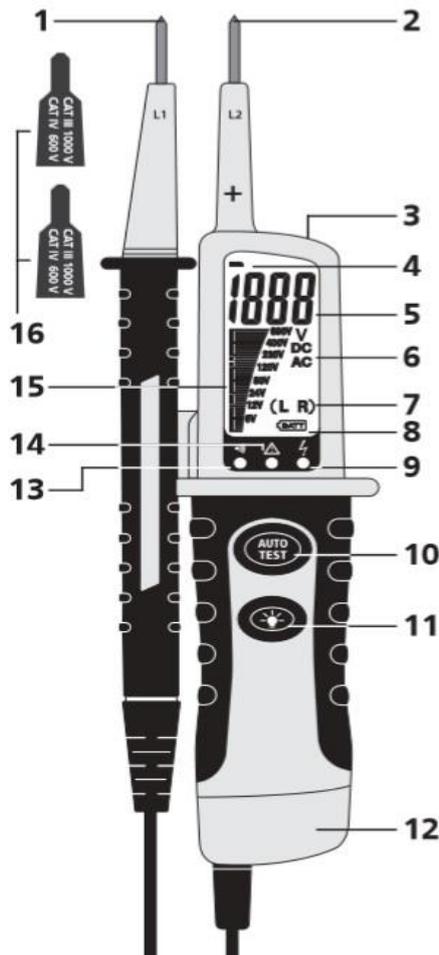
- ・本機は使用目的に従って、また仕様の範囲内で使用して下さい。
- ・測定を行う前に、試験する領域(例えばライン)や本機が正常に動作しているかを確認して下さい。本機を既知の電圧源(例えばACテストの場合は100Vソケット、DCは自動車バッテリー)に接続してテストをして下さい。1つでも不具合があれば使用しないで下さい
- ・25 V AC / 60 V DCより高い電圧で作業する場合は、十分注意して下さい。このような電圧で電気導体に触れると命にかかわる感電の危険があります。50Vの警告LEDが点灯している場合は特に注意して下さい。
- ・湿気やその他の導電性の残留物に触れる恐れのある時は、電圧の下で作業しないで下さい。25V AC / 60V DC以上の電圧では、湿気存在により、生命を脅かす電気ショックの危険があります。
- ・使用前に汚れがないか、水分がないか本機を点検して下さい。
- ・屋外で使用するときは、気象条件が適切であるか、適切な保護対策が講じられているかを確認して下さい。
- ・電気設備の危険な場所で測定する場合は、作業する前に電気技能者の指導を受けて下さい。
- ・電池カバーを開く前に、すべての電源を切って下さい。
- ・本機を30秒以上、電圧に接触しないで下さい。
- ・グリップ部のみで装置を持ちます。測定中にテストプローブに触れないで下さい。
- ・適切な過電圧カテゴリ(保護カバーなしのCAT II 1000 V;保護カバー-CAT III 1000 V + CAT IV 600 V付き)でのみ本機を使用して下さい。

1 電池の挿入



電池を挿入するとすぐに使用できる状態になります。個別のON / OFFスイッチはありません。
50Vの電圧測定から電池なしでも非常モードで動作します。

<各部名称>



- 1 (-)テストプローブ
- 2 (+)テストプローブ
- 3 ライト
- 4 極性表示
- 5 数値表示
- 6 AC/DC電圧表示
- 7 回転フィールド方向左(L)/右(R)
- 8 電池警告
- 9 左回転(L)/右回転(R)
- 10 セルフテスト(AUTO TEST)
- 11 ライト(ON/OFF)
- 12 電池ボックス
- 13 導通テスト
- 14 電圧注意 >50V
- 15 棒グラフ表示
- 16 保護カバー

2 機能テスト/自己テスト

- ・ 使い慣れた電圧源で電圧テストをして下さい。
- ・ テストプローブ(1)と(2)を接触させると 導通テスト(13)のLEDが点灯し、音が鳴ります。
- ・ “オートテスト”ボタン(10)を押します。テストが成功すると、導通テスト(13)のLEDだけでなく全棒グラフのLED(15)が点灯しシグナル音がします。

3 電圧テスト



クラスCAT III 1000 VおよびCAT IV 600 Vをから保護するために、必要に応じて保護カバー(16)をテストプローブの針に取り付けて下さい。(1)参照)



本体のテストプローブ(+)と、片方のテストプローブ(-)を、テストする対象物(ライン、ソケットなど)に接触させる。(2)参照)

- ・電圧テスターは4.5V以上の電圧で自動的に作動し、数値で電圧と棒グラフを表示します。



4 単極位相テスト

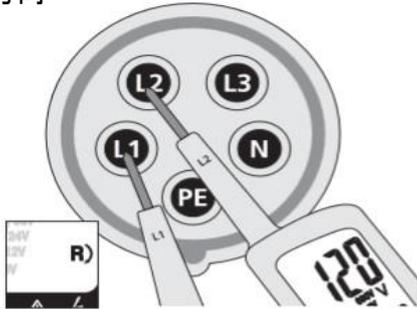
- ・ 被試験導体にテストプローブ(1)(2)を接触させると、AC電圧が被試験導体にあれば、LED(9)が点灯します。
- ・ 単極位相テストは、満充電された電池を挿入した状態でのみ実行できます。
- ・ 単極位相試験はAC電圧(約AC100V)から行うことができます。
- ・ 外部導体で単極位相試験を実施すると、特定の条件(例えば、人体防護装置を使用する場合、または断熱された場所)でインジケータ機能に悪影響を及ぼす可能性があります。



単極位相試験は、ゼロ電圧のチェックには適していません。
これを行うには、2極位相検定を実行する必要があります。

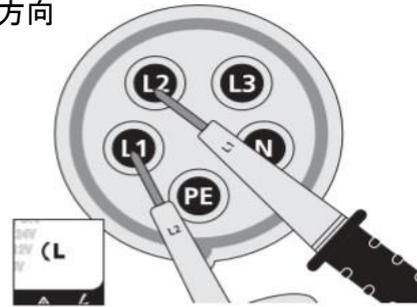
5 回転フィールドの方向決定

時計方向



R LED (13) が点灯していると、位相L1は
位相L1、位相L2は位相L2と考えられます。

反時計方向



L LED (7) が点灯した場合は、位相L1が実際に
位相L2であり、位相L2と考えるのは実際には
位相L1であると考えられることを意味します。

6 ライトの点灯

ライトを点灯させるにはボタン(11)を押し続けます。
ボタンを離すと、ライトは自動的にオフになります。



改造はしないで下さい。

- ・本機の寿命を著しく損ねる場合があります。
- ・ご使用者が怪我をする場合があります。
- ・作業工程に支障を来たす場合があります。

株式会社 エスコ

本社 / 〒550-0012 大阪市西区立売堀3-8-14

TEL (06)6532-6226 FAX (06)6541-0929

19.Jan